

けんぽっ

待ちに待ったパーティーだ!

10月31日。ついにお待ちかねのパーティーの日がやってきました。9月から始まった魔女さんとふじ組・うめ組の子どもたちとのやりとり。運動会の表現でも観て頂きましたが、パーティーを迎えるまでの様子を写真と共にお知らせします。

<魔女さんとの出会い>



キャップ入れの下に帽子の落し物が!! 誰のかな?
みんなの帽子とは形が違う!
「魔女の落し物かも」と、この後、帽子を被って遊ぶ子どももいました。最初は、興味のない様子だった子どもたちもいましたが、この後の大事件で年中組は大騒ぎに!!

<お部屋が大変なことに!>



魔女の帽子が落ちていた日から数日後、今度はお部屋の中が大変なことに!!
「先生、泥棒入ってる!」と朝早く来ていた子どもたちは大騒ぎ。
そんな中、ある子が一言。「これ、魔女がしたんじゃない」
この言葉を聞いた子どもたちは、片付けをしながら、
「帽子、探しに来たのかも」「大事な帽子なのかな」と話し始めます。

<そうだ!みんなに知らせなきゃ!>



「お部屋の中がすごかった」「荷物、全部出たよ」「魔女がしたのかも」と、気づいたこと、考えたことをお友だちの前で話しました。
「え〜、そんなはずないよ」と半信半疑だった子どもたちも、友だちの話を聞いてだんだん真剣な顔に。子どもたちと相談した結果、帽子は魔女に返すことになりました。

<魔女さんに帽子を返そう>

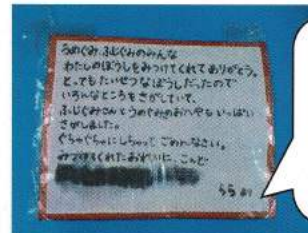


「どこだったら見えるかな」「空から見えるところにしなくちゃね」などと話しながら、魔女の帽子を返す場所を決めました。指令台の上、最初に見つけた場所、中庭などなど、子どもたちは魔女に気付いてもらえるように、考えを出し合います。最終的に、空からよく見える園庭の木に付けることに決めました。「魔女さん、ここだよ」と空に向かって叫び、「取りに来てくれるかな」と楽しみにしていました。



大分大学教育学部附属幼稚園
園だより 号外
2017年11月7日(火)
ふじ・うめ組

<魔女さんからお手紙が来ました>



園庭から帽子がなくなった次の日、魔女さんからお手紙が来ました。しかし、肝心なところが読めません。「読めない」「パーティーのお知らせじゃないかな」と想像を膨らませながら、嬉しそうに読んでいました。

<魔女さんからお手紙が来ました Part 2>



またもや、お手紙が!今度は、泥だらけだけど、最後まで読めました。封筒の中にはCDが入っています。「パーティーで踊る曲だって!!」音楽を流すと、ノリノリで踊る子どもたち。パーティーが楽しみです。

<今度は招待状だ!>



運動会も終わり、またいつもの毎日に…と思いきや、今度は靴箱の中に招待状が!
子どもたちは朝から大盛り上がり。お便り帳を開き、31日を確認。「夜かー。行けるかな」と心配そうにしている子どもたちも。「お家の人に聞いてみよう」とクラスで話し、お家に帰りました。

<さあ、パーティーの準備だ!!>



「やっぱり、夜はだめだって」「うちはいいよって」「ママから夜に魔女のところへ行くと、みんな魔女にされちゃうかもよって言われた」「それはいやだ」「帰れなくなるの」と、お家の人とのやりとりをみんなの前で話す子どもたち。「じゃあさ…」とある子が手を挙げました。「みんながいる時間にこっそり来てもらおうよ」その提案に、「いいね」「そうしよう」とみんな大賛成!!

さあ、31日のパーティーに向けて、準備を開始!!

実習生の力を借りながら、衣装、楽器、飾りづくりをしました。個性豊かな衣装に身を包み、お母さん先生と一緒に作った輪飾りやおばけを保育室にたくさん飾りつけ、そして、ドングリをいれて作った楽器を持って…あとはパーティーの日を迎えるだけ。
すると、そこへ、またまたお手紙が…。明るいうちは魔女さんが来られないみたい。そのかわりに、『魔女のららさんのお友だちがみんなにプレゼントを持ってきてくれる』と書いていました。もう、パーティーの日が待ち遠しくてたまらない子どもたち!!
それにしても、魔女のららさんのお友だちって誰なんだろう…

<さあ、パーティーの準備だ!!>

いよいよ、パーティーの当日。いつ来るかも誰が来るかもわからないので、朝からそわそわしている子どもたち。外で遊んでいても、時々空を見上げては、「誰もいない」とつぶやいていました。そんな時、どこからか、聞きなれない不思議な声が…。なんて言ってるかも聞き取れない、でもどこかで聞いたことがあるような…。「これはもしかして!!」と中庭に飛び出す子どもたち。すると、直野先生と一緒に現れたのは…なんと**ミニオン**!! どうやら、魔女のららさんからプレゼントを預かってきてくれたようです。その姿を見るや否や、興奮して歓声をあげる子、近くに駆け寄る子、嬉しくて飛び跳ねる子、保育室に隠れようとする子と、自分なりに喜びや驚きを表現していました。ミニオンからプレゼントを受け取って、「おぼけのパーティー」をみんなで踊りました。ミニオンが帰る時には、最後まで名残惜しそうに手を振り続けたり、追いかけていたりしていました。そして、プレゼントのマントに身を包み、「これをつけると高くジャンプできる」「速く走れる」と試したり、「これは魔法のマントに違いない」と一日中着けたりと、嬉しそうに遊んでいました。



パーティーまでの約1か月半、ふじ組うめ組の子どもたちは51人で、友だちの言葉に耳を傾けたり、自分の思いを話したりしながら過ごしてきました。子どもたちの想像力と表現力の素晴らしさ、そして、まだ見ぬ友だち、魔女のららさんを想う優しい気持ちに感激しました。パーティーが終わっても、登園するとマントを着けて遊んでいる子どもたちがたくさんいます。プレゼントを大事にしようという気持ちが伝わってきます。いつか、ららさんに会わせてあげたいなとも思いますが…実現するかはわかりません。保護者の皆様にも、たくさんご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございました。
※写真は、にこにこフォトにもあげていますので、ぜひ、ご覧ください。